

# 令和6年賀詞交歓会

広報委員会 副委員長  
(株)三晃空調 東北支店  
支店長 戸村正美



令和6年1月16日、江陽グランドホテルに於いて賀詞交歓会が開催されました。式次第は次の通りです。

開会に先立ち、能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

## 次 第

一. 開 会

一. 会長挨拶

一般社団法人 東北空調衛生工事業協会

会 長 佐藤 光好

一. 来賓挨拶

国土交通省東北地方整備局

営 繕 部 長 小 澤 剛 様

一般社団法人 宮城県設備設計事務所協会

会 長 佐々木 亨 様

一. 乾 杯

(一社) 日本空調衛生工事業協会東北支部

支 部 長 小 林 照 和 様

一. 祝 宴

一. 中締め

賛助会員会

代 表 幹 事 三 田 貴 久 様

一. お開き

佐藤会長より『ここ数年、私たちの生活もコロナの影響を実感する年が続いておりましたが、昨年 5 月以降は徐々に薄れまして年末には、ほぼコロナ前の生活に戻ったように感じております。我々設備業界も少なからずコロナの影響を受ける受注環境が続いておりましたが、昨年におきましては資機材の高騰や、機器類の納期遅延などの問題もありながらも顕著な建設需要と客先の理解を得ながら概ね好調な受注環境に改善された年になったと感じております。受注環境が好転し手持ちが増えたことは喜ばしいことと思いますが、いよいよ今年 4 月からは時間外労働の罰則付き上限規制が実施されます。これまでの準備期間の中でもいろいろな生産性向上や現場の 4 週 8 休等の取り組みなども行われておりますが、一人当たりの労働時間が削減されることにより、改めて新たな担い手確保の必要性を今まで以上に感じる年になるかもしれません。担い手確保につきましては、各企業単位で様々な取り組みが行われていると思います。当協会としましても今年は担い手確保につながる活動を積極的に企画、実施していきたいと考えております。現在の協会活動として若手体験発表会や技術講習会など様々なイベントを毎年実施しておりますが、参加者は会員企業や賛助会員企業に限られておりました。これら従来のイベントへの学生等の参加や設備業界に興味を持ってもらえるような、新たなイベントを企画し学生に参加してもらうなど、我々設備業界を広く学生に認識してもらうことで新たな担い手確保につながればと思っております。我々設備業界の維持、発展のため、正会員、賛助会員はじめ関係各位のご支援とご協力の程、この場を借りましてお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年は元日からあの東日本大震災を思い出すような災害が発生しました。被災された方々はこの寒さの中、不自由で日常とは違う、つらい避難生活を送られて

いると思います。あの時を経験している私たちとしては、心からお見舞い申し上げます。まだ頑張る気力も出ない状況とは思いますが、1 日も早い日常の回復と更なる災害が発生しないことを祈念しまして挨拶とさせていただきます。』との新年の挨拶がありました。



**佐藤会長**

次に来賓として出席していただいた国土交通省東北地方整備局の小澤営繕部長より『東北空調衛生工事業協会の会員の皆様には、日頃より大変お世話になっております。日常業務や各意見交換会、また昨年は日空衛の全国会議にも参加させていただきました。今年もいろいろとお世話になるかと思いますが、何卒宜しくお願い致します。さて、今年は正月から能登半島地震の大災害が発生しております。国土交通省は国民の生命を守ることが使命でございます。今も多数の職員が TEC-FORCE として活動しております。また、我々営繕部でも昨日から現地に入り建物の応急危険度判定などを実施しております。ひと時も早く被災者様の暮らしが日常に戻れるよう我々も取り組んでいきたいと思っております。また、今年には時間外労働の上限規制の始まりで働き方改革の確実な実行をしなければなりません。我々としましては、適正な工期・適正な費用で発注することに心がけているところでございます。社会法制審議会でも様々な物価と賃金の好循環の単価設定・検討を行っていますのでダンピング受注などをすることなく、適正な価格で契約していただきたいと思っております。

ここにいらっしゃる皆様の希望に満ちた発展の年となることを祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。』とのご挨拶を頂きました。



**国土交通省東北地方整備局 営繕部長 小澤 剛様**

次に来賓として出席していただいた一般社団法人宮城県設備設計事務所協会の佐々木会長より『建築設備の動向としましては、カーボンニュートラルの目標に向けた変化が引き続き行われております。エネルギー性能向上、スマートビルのさらなる進化、再生可能エネルギーの導入が震災以降かなり進んで来ていると思います。それを踏まえてエネルギーの評価の重要性が増してきており、それらが省エネ法改正につながってきています。これらの建築設備の取り組みの様子に反映して我々としてはさらなる適用性が必要になってきており、さらに新しい技術の導入を求められていることが多くなってきております。総合技術やイノベーションの環境への変化、影響の改善・適用・順応性というもの、さらにはそれらの新しい技術の導入に関して可能になると考えております。今、DXに関しましては民間工事においてはだいぶBIM化が進んでおります。官庁工事についてもだいぶ進んで来ていますが、働き方改革、担い手不足が重要で深刻で高齢化が進んでいます。今年は労働基準法の改正に伴う時間外労働規制に罰則を設けて始まるということでのいろいろな問題が山積しておりますが、この業界の皆様と共にひとつひとつ電気・設備の新しい未来が見えてくると信じています。

最後になりますが今年1年皆様方のさらなるご隆盛、ご発展並びに宮城・東北でも災害に対するパーセンテージが下がってはおりませんので、十分に災害に備えていただき、安全の1年を過ごせるように祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。』とのご挨拶を頂きました。



**宮城県設備設計事務所協会 会長 佐々木 亨様**

次に、司会者の総務委員会菊地委員より、官側のご来賓紹介がありました。

(官側来賓)

国土交通省東北地方整備局	営繕部長	小澤 剛 様
	営繕部設備技術対策官	斉藤 隆一 様
	営繕部整備課長補佐	宮内 大輔 様
仙台市都市整備局公共建築住宅部	参事兼設備課長	吉田 光宏 様

(民側来賓)

(一社) 宮城県建築士設計事務所協会	副会長	加藤 良一 様
(一社) 宮城県設備設計事務所協会	会長	佐々木 亨 様
(公社) 空気調和衛生工学会 東北支部	副支部長	田原 誠 様
(一社) 建築設備技術者協会 東北支部	支部長	赤井 仁志 様
(一社) 日本空調衛生工事業協会 東北支部	支部長	小林 照和 様
宮城県管工業協同組合	副理事長	小林 照和 様
東北ダクト工業会	会長	二階堂 成門 様
東北保温保冷工業協会	会長	吉野 潤 様
東北配管工事業協同組合	理事長	菅原 嘉祐 様
	専務理事	本越 繁実 様
(一社) 日本電設工業協会 東北支部	事務局長	佐島 千秋 様
(一社) 宮城県空調衛生工事業協会	専務理事	壹岐 孝志 様
(一社) 岩手県空調衛生工事業協会	会長	菅原 浩幸 様
(一社) 秋田県空調衛生工事業協会	会長	阿部 公雄 様





この後、日本空調衛生工事業協会東北支部の小林支部長より、昨年10月26日に日空衛全国会議が秋田市で開催され、300人を超える方々の参加があったとの報告がされ、乾杯の音頭と続きさらなる隆盛を誓い合いました。



**日空衛・小林支部長**

最後に賛助会員会の三田代表幹事による中締めの後、散会となりました。



**賛助会員会・代表幹事 三田様**

